

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年 8月10日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	直流250V蓄電池において、120個中1個の蓄電池の電圧が管理値(2.10ボルト以上)に対し2.04ボルトであることを確認したが、直流250V蓄電池の総電圧は262ボルトあることから傾向監視を継続。 なお、構内には予備蓄電池が20個あるため、他の蓄電池で電圧の低下が確認され、総電圧が231Vを下回る前に蓄電池の交換を行う。	GⅢ	8月9日
2	2号機	残留熱除去系補機冷却海水ポンプ(D)潤滑水バイパス弁(P48-F405D)において、弁固着により開方向へ操作できないことが認められたため、当該弁を点検、修理。 なお、当該弁は通常閉まっていることから、残留熱除去系補機冷却海水ポンプ(D)の運転に影響はない。	GⅢ	8月1日
3	3号機	タービン建屋2階(管理区域)湿分分離器(A)入口に設置している非常口誘導灯(1灯)において、表示部の破損と消灯が認められたため、当該非常口誘導灯を交換、修理。	GⅢ	7月28日
4	3・4号廃棄物処理設備	プラスチック固化系窒素製造装置空気圧縮機(A)冷却水出口配管(ゴムホース)において、冷却水(非放射性)の漏えいが認められたため、当該配管を交換、修理。 なお、冷却水の漏えいが確認された際に空気圧縮機(B)を運転した後に空気圧縮機(A)を停止したことにより冷却水の漏えいは停止。	GⅢ	8月6日